田川市立病院 VOL.13 春号/2016
ニュースレター

新副院長のご紹介

平成28年４月に副院長に就任しました松隈哲人です。

私は２年前に外科部長として着任しましたが、当院は今大きな転換期を迎えているように感じています。平成22年から進められた病院の再生事業はほぼ完結し、今後は国が進める病床数の見直しや在宅医療の推進といった地域医療計画に対応した病院のあり方が検討されています。そうした状況の中でいかにして地域中核病院として都市部の病院に劣らないような医療の質を確保するのかが課題になってきます。当院では本年４月から地域包括ケア病棟の運用が始まり、外科には田川地区唯一の呼吸器外科常勤医が着任しました。また、今後は救急部門の拡充などを予定しています。

外科では、患者さんそれぞれについて、年齢や合併症などの身体的条件だけでなく、家族構成やお住まいの状況などの社会的条件も考慮しながら患者さんやご家族に寄り添う診療を心がけています。また地域完結型医療の実践のため院内の職員はもとより、地域の公的病院や開業医の先生たちとも協力しながら切れ目のない診療ができるよう努めたいと思います。

PROFILE

副院長
松隈（まつくま） 哲人（あきと） 医師

昭和35年1月11日生(満56歳)
昭和59年　九州大学医学部卒業
昭和59年5月　医師免許取得

○日本外科学会認定医･専門医
○日本消化器外科学会認定医･専門医･指導医
○日本がん治療認定医機構がん治療認定医
○日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

新任医師紹介します

小児科

尾上（おのえ） 泰弘（やすひろ） 医師

子どもさんの心配ごとは何でもご相談ください。病気がなかなか治らない時、熱が続いて下がらない時、原因不明のブツブツが出た時などにしっかりと対応していきたいと思います。子どものリウマチ（若年性特発性関節炎:JIA)の治療（生物学的製剤を含む）も行っています。

産婦人科

安宅（あたぎ） 敬子（たかこ） 医師

田川地域にお住まいの女性の皆さんのためにがんばります。恥ずかしくて中々病院で受診できていない方も安心してお越しください。お待ちしています。

よろしくお願いします。

腎臓内科

吉田（よしだ） 健（たけし） 医師

腎臓内科スタッフとして、田川の医療に貢献できるように頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。

外科

赤嶺（あかみね） 貴紀（たかき） 医師

呼吸器外科を専門に診療を行っていきます。

これまでは非常勤医師として、週に 1 回の外来診療でしたが、今年度から呼吸器外科の体制が整いましたので常勤医としてまいりました。よろしくお願いします。

消化器内科

平野（ひらの） 昭和（あきかず） 医師

田川地域の皆さんのお役に立てるように、日々の診療に取り組みますのでよろしくお願いします。

整形外科

原田（はらだ） 知（さとる） 医師

外傷を中心に田川地域の皆さんのために貢献して参ります。よろしくお願いします。

産婦人科

川上（かわかみ） 穣（みのる） 医師

疾患の治療を行うだけでなく、病からくる不安感も軽減させ、皆さんが笑顔になれるような医療を心がけます。よろしくお願いします。

腎臓内科

末永（すえなが） 達也（たつや） 医師

腎臓疾患全般について各医療機関・各分野の先生方のご協力をいただきながら診療してまいります。最適で最善の治療を提供できるよう心がけていきますので、よろしくお願いします。

臨床研修医

植田（うえだ） 真史（まさし） 医師

自分自身の生まれた田川市立病院に医師として戻って来られたことを大変嬉しく思います。地域の医療に貢献できるようがんばります。よろしくお願いします。

総合診療科、救急科、呼吸器外科を新設

田川市立病院では、平成28年度に新たに総合診療科、救急科ならびに呼吸器外科を開設します。

わが国では、超高齢化が進みつつあり、複数の疾患を有する高齢者に広く対応できる総合診療科が求められるようになっています。他方では、緊急に対応できる救急医療のニーズは益々高まっています。ただ、田川地域では、総合診療はもちろん救急医療も体制は十分でありません。

また、当院は、これまで高度･専門医療及び急性期医療の充実に最も力をいれてきました。しかし、肺がんを含む悪性新生物の死亡率は、県内13医療圏でなお最も高い状況にあり、しかも呼吸器外科の専門医（常勤）は田川地域に一人もいませんでした。

そこで、田川地域における総合診療ならびに救急医療の体制を整備し、また、がんをはじめとする肺疾患の治療に対応するために、このたび上記の３診療科を新設することにしました。最初は専門医一人から始めますが、少しずつ充実させていく予定です。

総合診療科

現在の医療は専門・高度化が進んでいますが、超高齢化の進展に伴い患者さんの多くは複数の疾患を同時に抱えるなど、一つひとつの疾患を専門診療のみで対応するのが困難となっています。そのような観点から、患者さんの複数の疾患を総合的にとらえることが必要となり、「総合診療」が注目されるようになりました。

当院でも日々の診療で患者さんを総合的に診ていく必要性が高まり、また、田川地域の医療の質の向上に寄与するべく、このたび「総合診療科」を設立することにしました。今後は、総合診療医と専門診療科の医師が連携して患者さんの診察に当たって参ります。

救　急　科

福岡大学医学部救命救急医学講座（石倉宏恭教授）から救急専門医が派遣されることになり、救急科を新設することにしました。平成28年９月に専門医１人とローテーションの研修医１人が派遣され、救急科がスタートします。

福岡大学病院救命救急センターは、平成４年に福岡医療圏における救急医療の要として開設され、救命センター専用病床40床、ヘリポート、ドクターカー等を備えています。

田川市立病院としては、これを機会に、福岡大学病院救命救急センターとの密接な連携の下に、田川地域における救急医療の向上に努めて参ります。

呼吸器外科

当院では、これまで呼吸器外科の診療は九州大学からの非常勤医による外来診療のみで、外科治療としては手術を数例行う程度でしたので、肺がんの治療については九州大学病院などへ紹介することとなり、大変ご不便をおかけしておりました。

本年４月、九州大学から常勤の呼吸器外科医が赴任しましたので、今後は、気胸や膿胸などの良性疾患だけでなく、肺がんの手術や抗がん剤治療などを行うことができるようになります。肺がんは難治性のことも多いがんですが、九州大学病院との連携を強めることで、都市部に劣らない治療を行えるように努めていきたいと考えています。

「医療の質」向上に向けて

ー平成27年度総合医学会を振り返ってー

当院では全職員を対象とした教育・研修・研究を
総合的に推進することを目的に総合医学会を行っています。
平成 27 年度は「医療の質を測り、改善しよう」をテーマとして取り組みました。

[取組内容]

第 1 回例会は、6 月 11 日に済生会熊本病院病院長の副島秀久先生をお招きして、「Big Data と医療の質管理」というタイトルで特別講演をしていただきました。同院は早くからチーム医療の推進、臨床指標の公開、クリニカルパスの導入・改善などを通して医療の質の向上を行っています。今回は電子クリニカルパスの有効利用の話が中心でしたが、当院職員にとっては刺激の多いお話でした。

その後、医師や医療技術部門にそれぞれの立場で医療の質改善のためのテーマを考えてもらい、10 月 23 日の第 2 回例会では診療の質の評価を中心に医師 8 人、医療技術部門の 7 人がそれぞれのデータをもとに現状の報告と今後の課題を中心に発表しました。

第 3 回例会は、12 月 17 日に聖路加国際病院の医師であり、また聖路加国際大学情報システムセンターのセンター長でもある嶋田 元先生に「QI(臨床指標) による医療の質の評価」というタイトルで特別講演をしていただきました。同病院は平成 19 年から日本のすべての病院に先駆けて医療の質を測るための様々な臨床指標を公表していて世界的にも高い評価を受けており、その内容は多岐にわたり毎年 250 ページ以上の刊行物として出版されています。非常に志の高い取組であり、我々は感心するばかりでした。

1 年間のまとめである総会は 3 月 5 日に開催し、第 1 部では医師 8 人が主に第 2 回例会で取り上げたテーマについて、どのような改善が得られたかを中心に発表し、第 2 部では医療技術部門の 9 部門から様々な取組と今後の課題について発表がありました。

総合医学会で取り上げたことで各職員が「医療の質」を意識するようになることが最も大事ではないかと思われます。平成 28 年度も「医療の質」をテーマにあげ、さらにこれが病院全体の診療の質向上につながるように職員一同努力したいと思います。

総合医学会準備委員会委員長　松隈　哲人

小児科の専門外来

現在は以下の専門外来をいずれも完全予約制で行っています。

- **未熟児外来**　毎週月曜日・水曜日午後（当院小児科）
- **血液・免疫およびワクチン外来**　毎週水曜日午後（九州大学小児科）
- **神経**　第１金曜日午後、第３土曜日午前　（九州大学小児科）
- **循環器**　第４月曜日午後　（濱本邦洋国際医療福祉大学教授）
- **腎臓**　第４火曜日午後（九州大学小児科）

また、当院出生児の一か月健診を毎週木曜日の午後に行っています。

未熟児外来ではシナジスの接種も行っています。また、ワクチン外来では、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンを通年で、インフルエンザワクチンは例年 10 月中旬から 12 月に限定して行っています。その他のワクチンは、アレルギーなどで開業医の先生のところでの接種が難しい患者さんに対して、予めご連絡いただければ、当該ワクチンを取り寄せてからの接種が可能です。ただ、当院は現在のところ定期接種協力施設ではないため、患者さんの住所によっては自費扱いになることがあります。ご家族にご了承いただいた上でご紹介ください。

また、月・水・木曜日の午後は、特に感染症に弱い患者さんや新生児を診ている時間帯であるため、一般小児の診察は難しいこと、そして、入院依頼の患者さんをご紹介いただく際にも、状況によってはその外来時間帯を避けて受診してもらうことがありますので、事前にご連絡ください。

上記に該当する疾患でお困りの患者さんがいましたら、お気軽にご相談ください。

小児科　部長　菅　尚浩

〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 ／ ホームページアドレス http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/
TEL 0947-44-2100 ／ FAX 0947-45-0715 ／ 企画・発行 田川市 病院局

■田川市立病院 外来診療担当医

■外来診療受付時間 8:30～11:00　■休診日 日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）　平成28年4月1日現在

診療科			月	火	水	木	金	土
内科	脳血管	新患・再来	—	—	芝原友也※1	—	—	新患外来のみ
内科	循環器	新患	—	桑田孝一	兼田吉紹	—	井上航之祐	新患外来のみ
内科	循環器	再来	井上航之祐 兼田吉紹(偶)	大谷規彰※1	船越公太※1	上徳豊和※1	桑田孝一	新患外来のみ
内科	閉塞性動脈硬化症	新患	—	—	—	兼田吉紹	—	新患外来のみ
内科	消化器	新患	平野昭和	高津典孝	武田和大※2	—	金城健	新患外来のみ
内科	消化器	再来	—	平野昭和	金城健	高津典孝	—	新患外来のみ
内科	肝臓	新患・再来	稲田浩気※1	徳松誠※1 伊原諒※2	—	—	—	新患外来のみ
内科	腎臓	新患	大仲正太郎	—	吉田健	辻川浩明※1	松尾俊哉	新患外来のみ
内科	腎臓	再来	松尾俊哉	大仲正太郎	—	松尾俊哉	吉田健	新患外来のみ
内科	糖尿病内分泌	新患	—	—	—	井上智彰	—	糖尿病 藤井雅一※1 第2・4 再来(予約のみ)
内科	糖尿病内分泌	再来	池田陽介※1	岡本実里※1	多田隈博※1 池田喜彦 (名誉院長)第4	—	井上智彰	糖尿病 藤井雅一※1 第2・4 再来(予約のみ)
内科	呼吸器	新患(要予約)・再来	—	田中謙太郎※1	—	—	—	新患外来のみ
内科	脳神経	新患(要予約)・再来	—	—	進村光規※1	—	—	新患外来のみ
内科	一般	新患・再来	—	—	—	鈴木祥子 楠本三恵※3	—	新患外来のみ
内科	緩和ケア	新患・再来	河村康司	河村康司	—	—	—	新患外来のみ
小児科		新患・再来	菅尚浩 尾上泰弘	倉田浩昭	菅尚浩	倉田浩昭	尾上泰弘	当番医
小児科		再来	濱本邦洋 循環器 (非常勤)第4(午後)	今井崇史※1 腎臓 第4(午後)	高田英俊※1 血液・免疫 (午後)	—	九州大学 神経 第1(午後)	九州大学 神経 第3(午前)
外科		新患	松隈哲人	鴻江俊治	丸山晴司	鴻江俊治	赤嶺貴紀	当番医
外科		再来	吉田倫太郎	丸山晴司	鴻江俊治 (紹介患者のみ)	吉田倫太郎	松隈哲人 鴻江俊治 (紹介患者のみ)	休診
外科	呼吸器外科	新患・再来	—	—	赤嶺貴紀	—	九州大学	—
外科	血管外科	新患・再来	—	—	—	九州大学 第2・4	—	—
整形外科		新患・再来	久枝啓史 原田知	久枝啓史 石橋正二郎	石橋正二郎 原田知	久枝啓史 原田知	久枝啓史 石橋正二郎	当番医
整形外科		再来	—	張瑞棠 (名誉副院長)	—	張瑞棠 (名誉副院長)	張瑞棠 (名誉副院長)	—
形成外科		新患・再来	柳澤明宏	柳澤明宏	柳澤明宏	柳澤明宏	柳澤明宏	休診
皮膚科		新患・再来	分山英子	分山英子	分山英子	分山英子	分山英子	休診
泌尿器科		新患・再来	石田浩三 坪内洋明	石田浩三 坪内洋明	石田浩三	坪内洋明	石田浩三 坪内洋明	当番医
産婦人科	産科(妊婦健診)	再来	安宅敬子	藤田拓司	宮崎順秀	椎名隆次	川上穣	休診
産婦人科	婦人科	新患	川上穣	宮崎順秀	椎名隆次	藤田拓司	安宅敬子	休診
産婦人科	婦人科	新患・再来	交替	川上穣	安宅敬子	安宅敬子	交替	休診
産婦人科	婦人科	再来	藤田拓司	椎名隆次	川上穣	宮崎順秀	藤田拓司	休診
眼科		新患・再来	—	塩瀬聡美※1	立花崇※1	—	—	—
耳鼻咽喉科		新患・再来	福岡大学	産業医科大学	—	福岡大学	—	産業医科大学
麻酔科(疼痛外来)		新患(要予約)・再来	—	小山稔	小山稔 (神経ブロック)	—	小山稔	休診
歯科・歯科口腔外科		新患・再来	天野裕治 藤田弥千	天野裕治 藤田弥千	天野裕治 藤田弥千	天野裕治 藤田弥千	天野裕治 藤田弥千	当番医

※1　九州大学　　※2　福岡大学筑紫病院　　※3産業医科大学
新患：新しく受診される患者さん　再来：当院を受診され、予約をしている患者さん

小児科夜間診療時間(受付時間)：平日の18:00～21:30

ACCESS

JR＋平成筑豊鉄道

JR田川後藤寺駅→JR田川伊田駅　平成筑豊鉄道田川伊田駅→田川市立病院駅
※田川市立病院駅からは無料の連絡バスが出ています。

西鉄バス

後藤寺バスターミナル(金田平原団地行き)→田川市立病院

田川市コミュニティバス

[路線①]坂谷・田川病院線(坂谷～弓削田～後藤寺～田川病院)※後藤寺バスセンターで②へ乗り換え
[路線②]大浦・弓削田線(大浦～後藤寺～弓削田～田川市立病院)
[路線③]伊加利・松原線(伊加利～城山団地～中央団地～田川伊田駅～田川市立病院)
[路線④]鎮西・金川線(伊加利～上伊田駅～田川伊田駅～田川市立病院)
[路線⑤]施設循環線(田川後藤寺駅～青少年文化ホール～市役所～市民会館～石炭・歴史博物館～スマイルプラザ～田川伊田駅)※伊田駅前で③または④へ乗り換え
[路線⑥]白鳥工業団地線(田川後藤寺駅～白鳥工業団地～東鷹高校～田川伊田駅)
※伊田駅前で③または④へ乗り換え